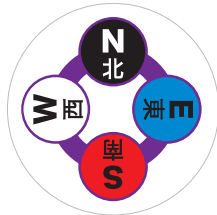


「ちずピタ(仮称)」を提案します。

シールの例

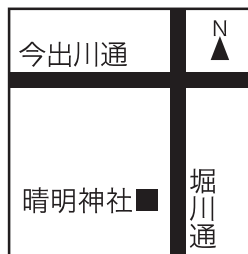


「ちずピタ」とは、東西南北を示すシール(ステッカー)で、バス停や地下鉄の地上の出入口に貼り、観光客の方などに方角を示すことを目的とします。

バスから降り立った時、あるいは地下鉄の出入口から地上に出てきた時、自分がどの方角に向いているのか、迷ったことはありませんか？

そんな時、バス停などにこの「ちずピタ」が貼ってあると、一目瞭然、どちらの方向に向いているかがわかります。

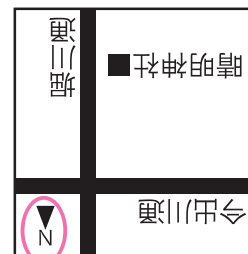
例



こんな地図を持っているとします。方角がわからないので目の前の道路が何通りなのか、どちらに進んでいいかわかりません。



バス停に「ちずピタ」が貼ってあると…



地図を持ちかえ、Nの指す方を「ピタッ」とあわせると、今出川通の前に立っていることがわかります。

地図を片手に歩いていらっしゃる観光客の方をよく目にします。バス停から離れた名所に行くには地図を読み取る必要がありますが、京都の町は碁盤の目。一旦方角を見失うと、次の大通りにたどり着くまで間違いに気づきにくく、方角を示すものが必要ではないかと思いました。